

# 第 1 回策定委員会の振り返りについて

## 10年後の浪江町に対する検討委員の意見のまとめ

委員名	委員からの意見（キーワード・フレーズ）
佐藤(秀)委員	・ 憧れるまち、誇れるふるさと
	・ 住む人、訪れる人に気遣い・気配りのできるまち
	・ 気遣いができ、憧れる、僻まれるようなまち
	・ 名前と呼べるようなまち
	・ 余所者と馬鹿者はたくさんいるので、あとは若者が集まってくれば地域おこしは可能
石井委員	・ 新しい浪江町
	・ 農業を再生
	・ 復興を応援してくれる人が全国にいる
	・ 町内産の農産物を加工し商品化できる環境整備
和泉委員	・ 浪江町に移住定住する若者を増やす
	・ 農業をやってみたい若者と農業後継者を探している方々が一緒に働く
	・ 地域おこし協力隊の制度を使う
大波委員	・ 子々孫々まで引き継がれるふるさと
	・ 安心安全で生活できる自然環境を取り戻す
	・ 子孫が目を向けてくれる浪江町
佐々木委員	・ この地に新たな人材を受けよう
	・ 帰還した人、帰還できない人、新しく入ってくる人に同じ情報を共有する
	・ 解体をして空いた土地をどう使うかを地域で検討する
	・ 危険なところは避けて、安定した地域に居住していただく仕組み

委員名	委員からの意見 (キーワード・フレーズ)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 浪江町に日本全国、世界から入ってくるような環境をつくる</li> <li>・ 原発避難を伝えていく</li> <li>・ 今までの歴史文化を現場で説明できる方を多く募り、次の世代へ繋いでいく</li> <li>・ 語り部を作っていくことが必要</li> </ul>
佐藤(幹)委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小中学生の増加、地元高校の復活</li> <li>・ 子・孫の世代まで長く働ける企業</li> <li>・ 医療・介護施設の充実</li> <li>・ 農業については、共同出荷調整設備等の充実</li> <li>・ せめてお盆、正月、他のイベント等には、町民の皆さまが数多く集まるまち</li> </ul>
清水委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10年後も町に住んでいる人、働いている人、浪江に関わる方たちが生き生きと生活していただけるまち</li> <li>・ 浪江町に来て仕事に就いて良かった、浪江に戻ってきて良かったと将来思える</li> </ul>
新谷委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然と共生した交流の盛んな学園都市</li> <li>・ 環境に優しいエネルギーに関連するものを誘致し、町を変えていく方向性を示す</li> <li>・ 建築資材では木材が鉄よりも二酸化炭素の排出が少ないため、地球温暖化防止につながる</li> <li>・ 誘致した企業をアピールし、色々な人に来ていただく</li> <li>・ 近隣町村のアーカイブ施設等との連携により、来訪者を増やし、浪江町をアピール</li> </ul>
末永委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 元の状態に戻すには移住者が必要</li> <li>・ 別荘感覚でもいいので、気軽に来られるような環境づくり</li> <li>・ 移住できるような環境づくり、体制づくり</li> </ul>
鈴木委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 訪問診療ができる医療体制の構築</li> <li>・ 浪江町が再建団体に入ることなく、町民のための行政運営を継続</li> </ul>

委員名	委員からの意見 (キーワード・フレーズ)
前司委員	・人口は1万人を目指す、最低でも5千人は超えてもらいたい
	・町づくり団体への支援
	・出産に対してのメリット
	・最先端技術を取り込んでいくと若者にも目につきやすいため、この町に来たくなる
	・日本の社会問題やSDGsなどへ取り組む
	・町の動線をきれいに作っていただきたい。
牧野委員	・今の魅力を失うことなく、“ゆっくりと”将来の復興に向かうことを期待
	・ヒトと気候が穏やかで暮らしやすい、外から来る人にも寛容な風土
	・“浪江育ち”が子供たちのプライドになる町
	・子育ての支援が充実している
	・外から来たヒトも暮らしやすいまち
	・高齢になっても安心して暮らせる
山田委員	・健康で元気な町
	・健康スポーツや、まちの魅力発信にかかわるコンテンツの一本化